

場として、原子力災害医療体制検討委員会を年1回開催します。

- 県は、令和5年度（2023年度）に国から示された甲状腺被ばく線量モニタリング実施マニュアル等を踏まえ、簡易測定および詳細測定の実施体制について検討します。

カ 原子力災害医療従事者の資質向上および関係機関の連携体制構築

- 県は、原子力災害医療人材育成支援事業を通じて、研修会を実施し、県内における原子力災害医療従事者の資質向上および関係機関の連携体制を構築します。

《数値目標》

目標項目	現状値 (R5)	目標値 (R11)
目指す姿（分野アウトカム）		
中間アウトカムの達成率	—	100%
取組の方向性（中間アウトカム）		
浸水想定区域に所在する災害拠点病院において、浸水対策を講じている病院の割合	40%	100%
活動可能な DMAT、DPAT のチーム数	DMAT : 31 DPAT : 1	DMAT : 37 DPAT : 4
浸水想定区域に所在する病院において、浸水対策を講じている病院の割合	50%	100%
病院における業務継続計画（BCP）の策定率	57%	100%
EMIS における基本情報および施設情報の入力率	〈基本情報〉 入力済み：14% 一部入力：86% 未入力：0% 〈施設情報〉 入力済み：0% 一部入力：85% 未入力：15%	入力済み：100%
EMIS 入力訓練における入力率	—	100%
災害医療コーディネーターに占める研修の受講率	83%	100%
派遣可能な災害支援ナースの人数	—	70人
DHEAT の登録人数	54人	86人
各関係機関と連携した防災訓練の実施回数	年8回	年8回
各関係機関と連携した原子力防災訓練の実施回数	年1回	年1回
具体的な施策（アウトプット）		
指定要件変更等にも適合した災害拠点病院の指定数	10 機関	10 機関以上
災害拠点精神科病院の指定数	0 機関	2 機関
DMAT および DPAT が連携した訓練の実施回数	—	年1回
BCP 策定済みの病院数	33 病院	58 病院

目標項目	現状値 (R5)	目標値 (R11)
EMIS 入力訓練の実施回数	年1回	年1回
災害医療コーディネーター研修の実施回数	年1回	年1回
災害薬事コーディネーターの任命者数	—	二次保健医療圏ごとに1名ずつ以上任命
災害時小児周産期リエゾンの任命者数	産科医9名 小児科医11名	各ブロックに産科医、小児科医、助産師、看護師を1名ずつ以上任命
災害支援ナース派遣等に係る医療機関との協定締結数	—	34 機関
DHEAT の養成研修の受講者数	54 人	86 人
災害・感染症医療従事者を対象とした研修の実施回数	年1回	年1回
災害医療体制に関する会議の開催回数	年1回	年1回
保健医療福祉調整本部運営訓練の実施回数	年1回	年1回
各保健医療圏域における訓練の実施回数	各保健医療圏域 年1回	各保健医療圏域 年1回
原子力災害拠点病院および原子力災害医療協力機関数	17 機関	17 機関
原子力災害拠点病院および原子力災害医療協力機関との協定締結数	—	3 機関
UPZ 内に所在する BCP 策定済みの病院数	—	3 機関
原子力防災訓練の実施回数	年1回	年1回
原子力災害医療体制に関する会議の開催回数	年1回	年1回
原子力災害医療従事者を対象とした訓練・研修の実施回数	年7回	年7回